

(第1面)

特別管理産業廃棄物処理計画書

令和7年 6月 30日

京都市長宛

提出者

住所 京都市中京区壬生東高田町1番地の2

氏名 地方独立行政法人京都市立病院機構 理事長 清水恒広

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 075-311-5311

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の2第10項の規定に基づき、特別管理産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

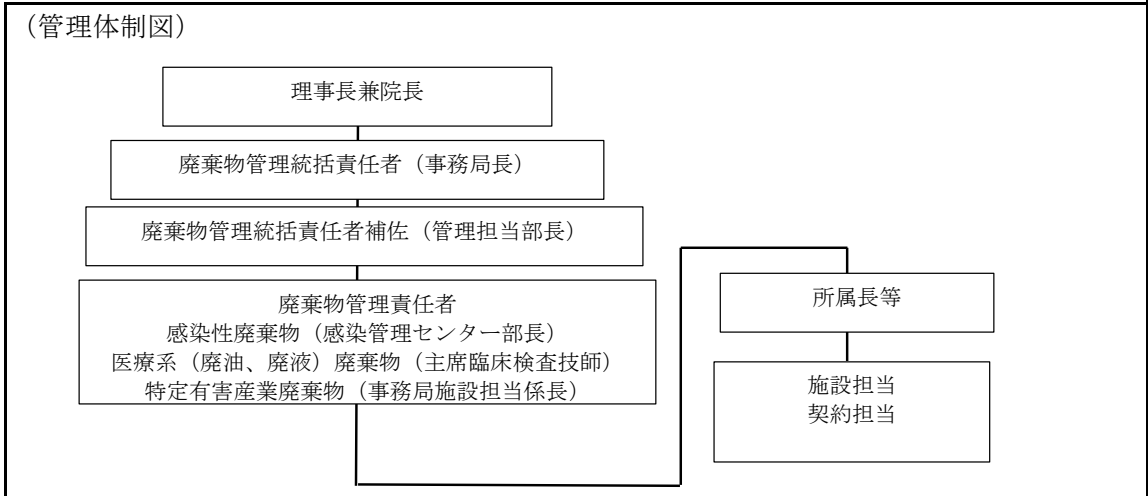
事業場の名称	地方独立行政法人京都市立病院機構 京都市立病院
事業場の所在地	京都市中京区壬生東高田町1番地の2
計画期間	令和7年4月1日～令和8年3月31日(令和7年度)

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

① 事業の種類	大分類：医療、福祉 中分類：医療業
② 事業の規模	病床数 548床
③ 従業員数	1,205人
④ 特別管理産業廃棄物の一連の処理の工程	

(第2面)

特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項



特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

		【前年度 (令和 6 年度) 実績】	
①現状	特別管理産業廃棄物の種類	別紙集計用シートのとおり	
	排出量	t	t
	(これまでに実施した取組) 感染症廃棄物の排出体積を抑制するために、危険のない範囲で、ゴミ箱をなるべく満杯にした状態で排出すること。		
	②計画		
		【目標】	
②計画	特別管理産業廃棄物の種類	別紙集計用シートのとおり	
	排出量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 従前までの取組みを継続する。		

特別管理産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 感染性廃棄物は鋭利物 (黄色)、固形物 (オレンジ)、液体・泥状 (赤) で全てバイオハザードマーク付きで分別している。
②計画	(今後分別する予定の特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 従前までの取組みを継続する。

(第3面)

自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和 6年度）実績】	
	特別管理産業廃棄物の種類	別紙集計用シートのとおり
	自ら再生利用を行った特別管理産業廃棄物の量	t t
	(これまでに実施した取組) 無し。	
②計画	【目標】	
	特別管理産業廃棄物の種類	別紙集計用シートのとおり
	自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	t t
	(今後実施する予定の取組) 無し。	

自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和 6年度）実績】	
	特別管理産業廃棄物の種類	別紙集計用シートのとおり
	自ら熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量	t t
	自ら中間処理により減量した特別管理産業廃棄物の量	t t
(これまでに実施した取組) 無し。		
②計画	【目標】	
	特別管理産業廃棄物の種類	別紙集計用シートのとおり
	自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	t t
	自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	t t
(今後実施する予定の取組) 無し。		

(第4面)

自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	別紙集計用シートのとおり	
	自ら埋立処分を行った特別管理産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組） 無し。		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	別紙集計用シートのとおり	
	自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組） 無し。		

特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	別紙集計用シートのとおり	
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
（これまでに実施した取組） 廃棄物の処理及び清掃に関する法律その他関係法令の規定に基づき、委託契約を締結している。			

②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	別紙集計用シートのとおり	
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
(今後実施する予定の取組) 従前からの取組みを継続する。			
電子情報処理組織の使用 に関する事項	【前年度（令和 6年度）実績】		
	特 別 管 理 産 業 廃 棄 物 排 出 量 (ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く。)	174	t
(今後実施する予定の取組等) ・電子マニフェストの利用に対応した委託業者を選定する。 ・電子マニフェストの適切な運用方法を把握し、実施を継続する。			
※事務処理欄			

(第6面)

備考

- 1 前年度の特別管理産業廃棄物の発生量が50トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる特別管理産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、埋立処分した量を記入すること。なお、中間処理を行うことにより特別管理産業廃棄物に該当しなくなった産業廃棄物を海洋投入処分するときは、その量も含めて記入すること。
- 6 「特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令（以下「令」という。）第6条の14第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 7 「電子情報処理組織の使用に関する事項」の欄には、前年度の特別管理産業廃棄物の全発生量（ポリ塩化ビフェニル廃棄物（令第2条の4第5号イからハまでに掲げるものをいう。）を除く。）を記入すること。その量が50トン以上の者にあつては、今後の電子情報処理組織の使用に関する取組等（情報処理センターへの登録が困難な場合として廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則第8条の31の4に該当するときは、その旨及び理由を含む。）について記入すること。
- 8 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、特別管理産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 9 ※欄は記入しないこと。

特 別 管 理 産 業 廃 棄 物 処 理 計 画 書 の [集 計 用 シ ー ト]

- ・ 下表にない種類の特別管理産業廃棄物については、「特別管理産業廃棄物の種類」欄に、品目名を記載してください。
- ・ 行が不足すれば、適宜追加してください。

特別管理産業廃棄物の種類	① 排出量(t)		② 自ら直接再生利用した量(t)		③ 自己直接埋立処分又は海洋投入処分した量(t)		④ 自ら中間処理した量(t)		⑤ ④のうち熱回収を行った量(t)		⑥ 自ら中間処理した後の残量(t)		⑦ 自ら中間処理により減量した量(t)		⑧ 自ら中間処理した後再生利用した量(t)		⑨ 自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量(t)		⑩ 譲渡及び自ら自己処理した後の処理委託量(t)		⑪ (⑪=①-②-③-④+⑥-⑧-⑨+⑩+⑫+⑬+⑭+⑮)										⑫+⑬自ら再生利用を行った量(t)		⑭+⑮自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量(t)					
	当該事業場において生じた産業廃棄物の種類ごとの量		①の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量		①の量のうち、中間処理をせず自ら埋立処分又は海洋投入処分した量		①の量のうち、自ら中間処理した産業廃棄物の当該中間処理前の量		④の量のうち熱回収を行った量		自ら中間処理を行った後の量		④の量から⑤の量を差し引いた量		⑥の量のうち、自ら利用し又は他人に売却した量		⑥の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量		中間処理及び最終処分を委託した量		⑪の量のうち、処理業者への再生利用委託量(⑪-⑬を除く)		⑪の量のうち、認定熱回収施設設置者である処理業者への焼却処理委託量		⑪の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量		⑪の量のうち、委託して焼却等の中間処理した量(⑪-⑬を除く)		⑪の量のうち、直接委託して埋立て最終処分した量		⑪の量のうち、優良認定処理業者への委託処理量		⑫の量と⑬の量を合計した量(自動計算)		⑭の量と⑮の量を合計した量(自動計算)			
	前年度実績	今年度目標	前年度実績	今年度目標	前年度実績	今年度目標	前年度実績	今年度目標	前年度実績	今年度目標	前年度実績	今年度目標	前年度実績	今年度目標	前年度実績	今年度目標	前年度実績	今年度目標	前年度実績	今年度目標	前年度実績	今年度目標	前年度実績	今年度目標	前年度実績	今年度目標	前年度実績	今年度目標	前年度実績	今年度目標	前年度実績	今年度目標	前年度実績	今年度目標				
廃油(引火性)	1	1											0	0					1	1												1	1	0	0	0	0	
廃酸(特管)													0	0					0	0												0	0	0	0	0	0	
廃アルカリ(特管)													0	0					0	0												0	0	0	0	0	0	
感染性廃棄物	173	173											0	0					173	173											173	173	0	0	0	0	0	0
廃PCB等													0	0					0	0												0	0	0	0	0	0	
廃石綿等													0	0					0	0												0	0	0	0	0	0	
廃油(特定有害)													0	0					0	0												0	0	0	0	0	0	
汚泥(特定有害)													0	0					0	0												0	0	0	0	0	0	
合計	174	174	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	174	174	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	174	174	0	0	0	0	0	0

(注1)トン未満は原則として四捨五入。ただし、数字が有効であれば小数点以下3桁まで記載は可。